

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔小児外科〕

指標名

腹腔鏡下手術比率の上昇

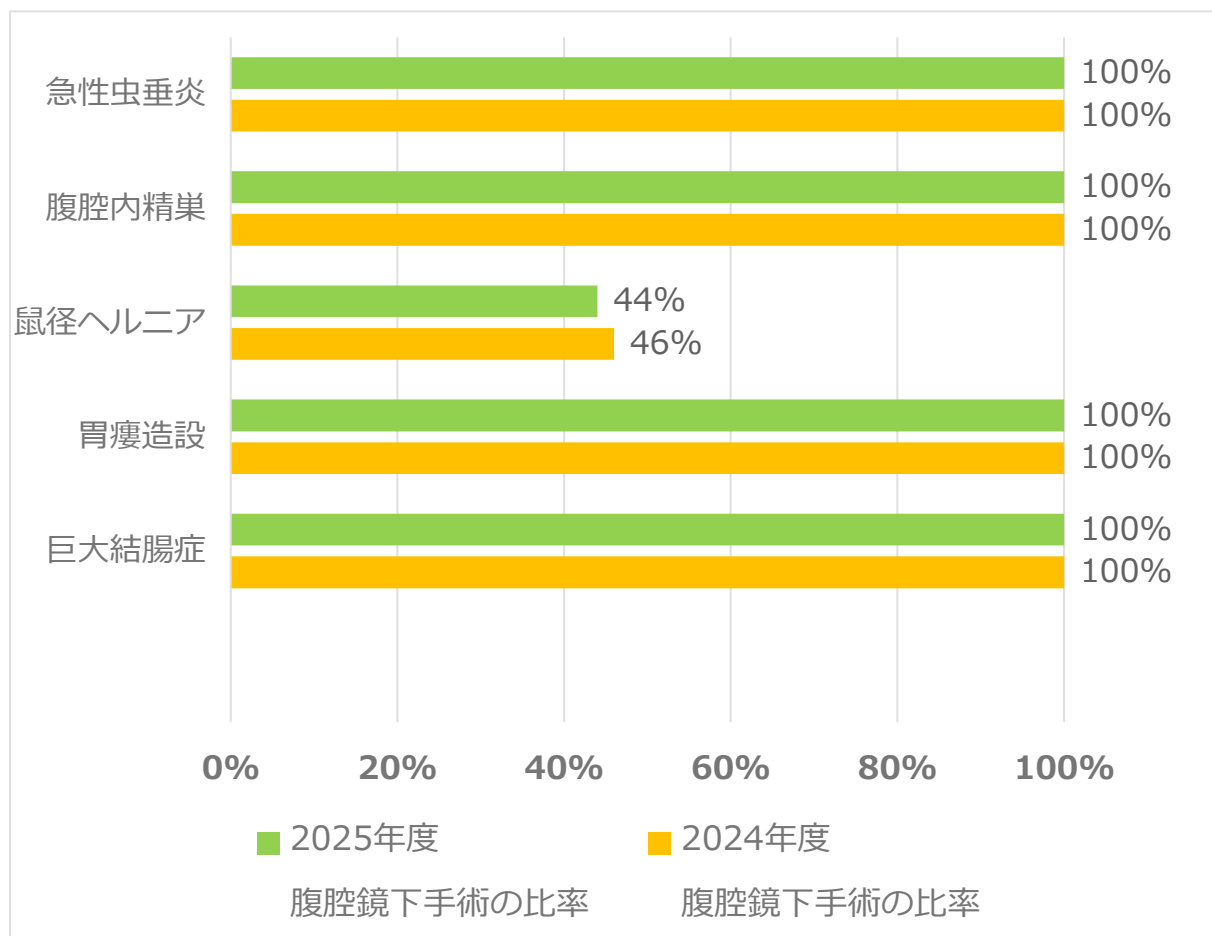
目標・ゴール

腹腔鏡下手術比率をさらに上昇させる

目標・ゴール達成による効果

腹腔鏡下手術の上昇に伴い紹介率の上昇が見込まれる

目標・ゴールに対する成果の状況



2020 年以降、腹腔鏡下手術数が増加し、特に急性虫垂炎・腹腔内精巣・巨大結腸症・胃瘻造設(新生児除く)の手術に関しては 100%腹腔鏡下手術となり、鼠径ヘルニアにおいても腹腔鏡下手術の比率を高い水準で維持している。

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

S :大幅に目標を上回った

A⁺:目標を多少上回って達成

A : 目標を達成

B⁺:目標を少し下回った

B :目標を下回った

C :目標を大幅に下回った

- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

腹腔鏡下手術数をさらに増加させるため、他疾患に関しても更なる腹腔鏡下手術の導入を進める。